レディーミクストコンクリート配合計画書

殿

2024 年 4 月 1 日

No.

株式会社山平組 赤屋生コン工場

世羅郡世羅町大字赤屋字長者ヶ原 2 2 - 1 TEL:0847-24-0226 FAX:0847-24-0229

配合計画者名

							酉	合計画	画者名						
I.	事 名	称													
所	在	地													
納入	予 定	時期													
本配合	の適用	期間	(標準四	記合)											
コンクリ	ートの打込	み箇所													
		·		配合	· 0)	設	計	条件	‡						
呼び方 コンクリートの 種類による記号 呼 普通 通			2び強度 スラン			プ 又はスランプフロー cm		粗骨材の最大寸法			セメント による				
			24		8		40			BB					
	E 7/			呼び方欄に記					の最大寸法			呼び方欄		遺載	
定必骨相項)	■ 須 F 1/7 * 2 1至大只				使用材料欄に記載			の方法					ВВ		
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分								軽量コンクリートの単位容積質量				- kg/m³		
拍 へ 浪浪	の区分 和材料の種						リートの沿	- KE	_ °C 60 %						
定 仕 塩/	化物含有量						水セメント比の目標値の上限 単位水量の目標値の上限				— kg/m³				
事 恵 呼(び強度を保					単位セ	メント量の	下限	- kg/m³						
	項)								票値の上限	1 4410					
空急	量				4.5		%		後のスラン	/ブ増大:	重		- 	cm	
· · · ·	11		tete > > >			目	材	料	. , 3	2 24	1,,	2 0/			
	セメント 生産者名 UBE三菱セメント株式							_	g/cm³	3.04	_	Deq %			
混和材	製品名		_	種類			- /カリシリカ反		g/cm³	粗粒率		Deq %			
材 No.	種 類	j.	産地又に	は品名	Ī		よる区分		粒の大き さの範囲	又は実積率	絶乾	g/cm³ 表乾		Z分量 E囲%	
	加工砂	三次市甲				A	化学法		5以下 2.70		- 2.53		-		
骨 ②	_		_			_	_		_	_	_	_	-		
材 ③	_		_			_	-	_	_	_	_	_	-		
粗①荷	卆石2010	世羅郡世	郡世羅町小世良			Α	モルタル	ルバー法	20~10	7.00	_	2.64	0.5	± 0.5	
	卆石1505		羅郡世羅町小世良					ルバー法		6. 20	_	2.64		± 0.5	
			17世羅町小世良						40~20 7.90		- 2.64			± 0.5	
	混和剤① 製品名 マスターポリヒード1					種	AE減	冰剤標	準形(1種)			Na ₂ Oeq		0.6	
	虎 和剤②					類	一						-		
細骨材の塩 回収骨材の値	正化物量 ①		0.000		水の区	.分		(上燈水)		【スラッジ				- % (#)	
回収有材の1	更用力 	田骨材			粗骨材			- 		ニヘフツン	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	用の 1		<u> </u>	
	\n < !!			10 1: -	配				g/m³				T >= -	-t C	
セメント 272	混和材	水 158	細骨材 812			田骨村	才③ 粗	.骨材① 358	粗骨材② 153) 粗骨杉 511		混和剤① 2.72		混和剤②	
水セメ) L HA				\ \ ++ L \								E 2	<u> </u>	
-	ノ 下比	58.0	<i>y</i> %	水結合		- п. п.	-++\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			细骨材率 			5. 3		
備考						租賃	7 化	「	量比)150	J5 : 201	υ: 402	zυ=15 :	35:	50	

修正標準配合として次ぎに示す適用期間の間、混和剤の単位量のみ変更

夏期 7月21日 \sim 9月20日 +20% 冬期11月1日 \sim 4月20日 -20% 上記適用期間は基準であり、気象状況により変動する場合がある。

骨材の質量配合割合, 混和剤の使用量については, 断りなしに変更する場合がある。

レディーミクストコンクリート配合計算書

			j	配合(の設計							
		リートの よる記号	呼び	強度	スランプ 又はスランプ フロー 粗骨材の最 cm mm					メントの種類 による記号		
	普	通	2	4	8	3 40				ВВ		
変動係数	汝	V	当工場の実績により								%	
割増係数		α	$\alpha 1 = \frac{0.85}{1 - \frac{3.0 \times V}{100}} = 1.214 \qquad \alpha 2 = \frac{1}{1 - \frac{3.0 \times V}{100\sqrt{3.0}}} = 1.209$ $\alpha 3 = \frac{1.0}{1 - \frac{2.0 \times V}{100}} = 1.250$								1. 214 1. 209 1. 250 1. 250	
配合強度 m			$m = \alpha$	30.0	N/mm^2							
水セメント比 W		W/C	$m = a + b \times C/W = -18.10 + 28.00 \times C/W$									
			W/C = $\frac{b}{m - a} = \frac{28.00}{30.0 + 18.10} \times 100 = 58.0$								%	
単位水量		W	当工場の実績により								kg/m^3	
単位セメント量		С	$C = \frac{W}{W/C} \times 100 = \frac{158}{58.0} \times 100 = 272$								kg/m³	
		C v	C v = C ÷ 密度 = 272 ÷ 3.04 = 89								L/m³	
空気量 A			A = 設計	45	L/m^3							
粗骨材かさ容積		Gv'	当工場の実績により (実積率=60.0 %)								m³/m³	
単位粗帽	単位粗骨材量		G v = かさ容積×実積率(%) = 645 × 60.0(%) = 387								L/m³	
		G	G = G v × 密度(2.64) = 1022								kg/m^3	
		G1									kg/m^3	
		G2 G3	$\bigcirc G2 = G \times 15(\%) = 153$ $\bigcirc G3 = G \times 50(\%) = 511$								kg/m³ kg/m³	
		Sv	S v = 設計 %	容積−(W+	C v + G v +	(A) = 1000	- (158+89-	+387+45) =	=321	321	L/m³	
		S	S = Sv × 密度(2.53) = 812								kg/m^3	
細骨材率		s/a	$s/a = \frac{S \text{ v}}{S \text{ v} + G \text{ v}} \times 100 = \frac{321}{321 + 387} \times 100 = 45.3$								%	
単位混和剤量 AE		ΑE	AE=C×添加率(%)=272×1.00(%)=2.72								kg/m³	
				配	合	表 l	kg/m³					
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和	剤① 混	和剤②	
272	_	158	812	_		358	153	511	2.	72	_	
水セメ	ント比	58.	0 %	水結合材」	比	_	% 細	骨材率		45. 3	3 %	

備考